参考資料３

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R7）

【取組機関・オブザーバー】
●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外
※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】
・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】
基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組項目名称の一部更新、既存取組項目の集約を含む）
応用：既存の取組項目から、新規取組の追加等を行い、発展
新規：新規の取組項目として追加

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	ＪＲ西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台（和歌山）	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	ＪＲ西日本
柱①：水害リスク情報等の更なる充実と自主防災意識の向上による安全な住民避難等の実践																													
1	洪水時の河川管理者と関係市町村との連携の検証と改善	基礎継続	継続的に実施	▼洪水時のホットライン等による連携会議の検証と改善	●	●	●	●	●	●	●	○	●	－	－	－	実施中 ・関係市とのホットラインを構築済みで、R7.5月の洪水対応演習時に、ホットラインの訓練を実施し、河川管理者と関係市で連携できることを検証済み。 ・今後、必要に応じ改善を行っていく予定。	実施済 洪水時のホットライン等による連携会議の検証。	実施中 洪水時のホットライン等による連携会議の検証。	実施中 電話・FAX等で放水量の情報を連絡（R6）。	実施中 県管理の水位周知河川（熊野川、板屋川）において、ホットラインを構築し、運用している。	実施中 台風第15号に伴う紀宝町タイムライン連携会議を実施し、各関係機関との情報共有を実施。	実施中 産田川、板屋川のホットラインを構築。	未実施 実施する機会がなかった。（10月22日現在、今年度は洪水予報を発表していない。）	実施中 実施の機会なし。	実施中 紀宝町タイムライン連携会議の実施。（台風第15号）	－	－	－
2	タイムラインの検証と改善及び各機関のタイムラインの共有	応用	継続的に実施	▼関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、▼多機関連携型タイムラインの検討	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	実施中 ・市、国、県、気象台で新宮市タイムライン協定を締結し、共有済み。 ・R7.5月の洪水対応演習時に、タイムラインの項目について訓練を実施した。 ・今後、必要に応じ改善を行っていく予定。	実施済 関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、多機関連携型タイムラインの検討。	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成。	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成（R5）。	実施中 県管理の水位周知河川（熊野川、板屋川）において、水害対応タイムラインの検証を行い、必要に応じて更新を行う。	実施中 ・台風第15号に伴う紀宝町タイムライン連携会議を実施し、各関係機関との情報共有を実施。 ・台風第15号に伴う熊野川流域タイムラインWEB会議による危機感共有を実施。	実施中 熊野市タイムラインを運用。	実施済 台風第15号熊野川流域タイムライン連携会議にて気象説明を実施した。	実施中 台風時、紀宝町タイムライン連携会議にて気象説明を実施している。	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の運用及びWEB会議による危機感の共有の実施。（台風第15号）	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成。	実施中 熊野川流域タイムライン（県拡大版）の作成。	実施済 計画運休ガイドラインを制定しており、前広な関係機関への情報提供を実施している。
3	大規模水害に対する広域的な避難対策の検証	応用	継続的に実施	▼水害リスク、感染拡大防止等を踏まえた広域避難の必要性検討、▼広域避難計画の立案	○	●	●	●	－	－	●	－	○	－	－	－	実施中 地域防災計画で広域で避難者及び傷病者の受け入れ協定を締結。（関西広域連合と九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定等）	実施済 広域避難の必要性の検討。（風水害時不要）	未実施 広域的な受援計画は策定済であるが、避難対策については検討段階に至っていない。	未実施 ・北山村は飛び地であり、周囲を奈良県、三重県に囲まれているので、広域での避難対策が難しい現状。 ・県境をまたぐ場合の広域的避難については、避難計画の立案などにおいて、県、又は国の支援をお願いしたい。（R6）	－	－	実施中 ・熊野川流域の集落については浸水する可能性が高いため近隣市町への広域避難を含め検討中。 ・今後具体的な計画を作成する場合には国・県・避難先市町村のご協力をお願いしたい。（R6）	－	－	実施中 市田川排水機場周辺地域の広域防災拠点化の可能性を検討。	－	－	－
4	水害リスク情報の充実（水害リスク空白域の解消、内外水一体・多段階型浸水想定等）・周知	応用	継続的に実施	▼内外水一体、多段階型の浸水想定区域図作成、▼水害リスク情報の空白域の解消	●	●	－	－	●	●	－	－	●	－	－	－	実施中 ・R3～R5年度に水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成し、R6.3.29に当該洪水浸水想定区域図を公表済み。 ・R5に熊野川の多段階浸水想定区域図を作成し、公表に向けて調整中。	実施済 浸水実績等の周知（ハザードマップ等）。	－	－	実施済 新宮川水系の県管理河川全てにおいて、洪水浸水想定区域図の作成・公表を行う。	実施済 新宮川水系河川整備基本方針の見直しに伴う、計画規模の浸水想定区域の更新。	－	－	－	実施中 内外水統合型の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップの作成。	－	－	－
5	水害リスク情報を活用した水害ハザードマップの作成（更新）・周知	応用	継続的に実施	▼No4の情報を活用した水害ハザードマップの作成、▼Web版ハザードマップの展開	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	実施中 ・水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供済み。	実施済 No4の情報を活用した水害ハザードマップ及びWeb版ハザードマップの作成。	実施中 R6年度にWeb版洪水ハザードマップを公開R７年度に洪水ハザードマップを更新予定。	実施中 今年度において、土砂災害ハザードマップを作成中。	実施中 県HPによるハザードマップの周知。	実施済 No4の情報を活用した水害ハザードマップ作成済。 今後、Web版ハザードマップの展開を検討中。	実施済 R2年度に井戸川、産田川・志原川、熊野川・板屋川版、R5年度に熊野宮川・里川・久保川・湊川・大又川・湯谷川・相ケ谷川・小又川版を作成した。同データを熊野市ホームページに掲載した。	－	－	実施中 新宮川水系河川整備基本方針の見直しに伴う計画規模の浸水想定区域図の更新に伴う浸水ナビの更新。	－	－	－
6	不動産関連業者に対し、水害リスク情報の更なる充実と情報提供	基礎継続	継続的に実施	▼不動産業者へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供	●	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－	実施中 ・公表済みの洪水予報河川及び水位周知河川に加え、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、ホームページ等で公表を行い、情報提供中。	－	－	－	実施済 新宮川水系の県管理河川全てにおいて、洪水浸水想定区域図の作成・公表、プレスリリースを行うとともに、作成データをオープンデータ化し、情報提供体制を構築する。	－	－	－	－	実施中 不動産業者へ情報提供済。（問い合わせ等）	－	－	－

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】

基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組項目名称の一部更新、既存取組項目の集約を含む）

応用：既存の取組項目から、新規取組の追加等を行い、発展

新規：新規の取組項目として追加

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	和歌山津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
7	防災意識の向上に資する出前講座や水災害教育等の推進	基礎継続	継続的に実施	▼出前講座・防災授業等の実施	●	●	●	●	○	●	●	○	●	－	－	－	実施中 ・「出張！減災教室」を実施。 【令和7年7月：田辺市、令和7年9月：橋本市など】 ・「出張！県政おはなし講座」を実施。【令和7年8月：海南市】 ・地域防災リーダー育成のための「紀の国防災人づくり塾」を実施。 【令和7年度：和歌山会場令和7年10月】 ・防災授業を実施。 【R7.6.16に警察、R7.8.5に消防】	実施済 出前講座の実施（随時実施）。	実施済 各種団体からの希望に応じ防災学習会を実施。	実施済 防災講演会の実施。自主防災組織による避難訓練の際に村の耐震事業等の説明を行った。	実施中 要請があれば、出前講座等を実施する。	実施中 各種団体等からの要請に応じて、防災学習会を随時実施。	実施中 自主防災会、自治会等において、防災講話、勉強会を実施。	実施中 5月には初任者の自治体職員、防災担当者に対して防災講習会を実施した。また、学校や要配慮者等関連事業者、消防や警察関係等からの依頼を受けて出前講座を随時実施している。	実施中 ・市町職員を対象とした防災研修及び気象防災ワークショップを実施している。 ・学校、自治会等に出前講座を実施している。	実施中 ・R6.11.14熊野川中学校防災授業実施済み。 ・R7.12.8熊野川中学校防災授業実施予定。	－	－	－
8	平時からの適切な避難行動に資する取組の推進	基礎継続	継続的に実施	▼避難訓練・防災訓練、▼避難対策ワークショップ、▼まるまち、▼避難誘導表示版設置、等	●	●	●	●	－	●	●	○	○	－	－	－	実施中 ・市町村における「避難対策ワークショップ」の開催を支援。 ・市町村が実施する避難誘導灯の設置など避難路整備に対して「わかやま防災力パワーアップ補助金」にて支援。	実施済 避難所看板の設置。	実施済 市の防災訓練のほか、各自主防災会での訓練を実施する。	実施中 村全体での防災訓練を11月5日に実施予定。	－	実施中 ・全町で実施する防災訓練のほか、各自主防災組織単位での訓練を実施。 ・井田地区風水害タイムライン作成に伴うワークショップを開催。	実施中 R4年度は井戸川流域で「Myまっぷラン＋」を実施しマイタイムライン作成。R5年度は紀和町板屋川流域で実施。R6年度は飛鳥町大又川流域で風水害対策の講話・ワークショップを実施。	実施中 防災訓練に参加依頼があった場合は参加している。	実施中 市町の防災訓練等に参加している。	実施中 各市町等への防災訓練への参加。	－	－	－
9	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進や避難の実効性確保に資する取組の推進	基礎継続	継続的に実施	▼要配慮者利用施設管理者への説明会、▼要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、▼避難訓練の実施	○	●	●	●	○	●	－	○	○	－	－	－	実施中 ・市町村地域防災計画に要配慮者利用施設が記載されていない場合は、適宜指導。 ・市町村に対し、定期的に避難確保計画、避難訓練の実施状況の調査を行い、避難確保計画の作成等を促した。また、説明会の開催時などあらゆる機会を通じて、施設管理者の取組を確認・指導。	実施済 要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、避難訓練の実施。	実施済 要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、避難訓練の実施。	実施済 自主防災組織による避難訓練を行った際に、要支援者への声掛けを行った。	実施中 避難確保計画の策定及び訓練の実施を呼びかける。	実施中 要配慮者利用施設において、避難確保計画に基づく避難訓練の実施。	－	実施中 和歌山県身体障害者連盟主催の幹部研修会における講演依頼を受けて R6年2月に講演を予定している。	実施中 ・要配慮者利用施設管理者への出前講座を実施している。。	実施中 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援の実施。	－	－	－
10	共助に関する取組事例の共有、取組強化	基礎継続	継続的に実施	▼自主防災活動の手引き作成、▼自主防災組織が行う訓練等の支援	－	●	●	●	－	●	●	－	○	－	－	－	－	実施済 自主防災活動の手引き作成。	実施済 地域の自主防災組織が行う訓練や資機材等の整備などの活動を自主防災組織育成事業等補助金により支援。	実施中 自主防災組織による避難訓練の実施。	－	実施中 各自主防災組織が行う防災訓練や資機材の整備などへの支援・協力を実施。	実施中 市内自主防災組織が行う訓練等の支援実施。	－	－	実施中 ・事務所HPにて、自助・共助・公助のオンライン学習動画等を公開中。 ・熊野川中学校において防災授業を実施中。	－	－	－
11	コミュニティタイムラインやマイ・タイムラインの普及・促進	応用	継続的に実施	▼紀宝町地区タイムラインの展開、▼マイ・タイムラインの作成支援	●	●	●	●	●	●	●	○	●	－	－	－	実施中 マイ・タイムラインの作成を促進するため、市町村における「避難対策ワークショップ」の開催を支援。	実施済 ハザードマップの利用（個人での記入等作業ケ所有）推進による個別の計画作成。	未実施 本宮地域の洪水浸水想定区域においては、度々起きる浸水被害の実践的な経験から避難行動がほぼ確立されている。市としても地域防災計画等により対応に当たっている。	未実施 マンパワー不足により各地区の自主防災組織にてタイムラインの作成ができない状況。タイムラインや避難マニュアルの策定について、県・国等による支援をお願いしたい。（R6）	実施中 県災害対策本部及び熊野地方部におけるタイムラインの作成。	実施中 井田地区風水害タイムラインの作成。（1地区5自主防災組織）	実施中 R4年度は井戸川流域で「Myまっぷラン＋」を実施しマイタイムライン作成。R5年度は紀和町板屋川流域で実施。R6年度は飛鳥町大又川流域で風水害対策の講話・ワークショップを実施。	未実施 実施する機会がなかった。	実施中 台風時、紀宝町タイムライン連携会議にて気象説明を実施している。	実施済 高齢者福祉施設のタイムライン作成支援。	－	－	－
12	SNS等を活用したリスクコミュニケーションの検討	発展	継続的に実施	▼SNS等を活用した即時性の高い情報発信・共有・活用方策の検討	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施中 ・プッシュ型で情報発信が可能な防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」を開発。 ・X（旧Twitter）を活用した情報発信。	実施済 SNS（LINE、Facebook、X（旧Twitter）など）による防災情報の発信。	実施済 防災メールや市公式SNS等で防災情報を提供。	実施中 ラインを活用した情報連絡の実施。（R6）	実施中 県災害対策本部によるSNS（X（旧Twitter）等）の運用。	実施中 防災行政無線と連携したSNS（LINE、メールなど）やテレビによる情報発信。	実施中 防災行政無線と連携したSNS（LINE）による情報発信を実施。	実施中 気象庁では、X（旧Twitter）において最新の防災情報の発信、youtubeにおいては記者会見の録画を共有している。	実施中 気象庁では、X（旧Twitter）において最新の防災情報の発信、youtubeにおいては記者会見の録画を共有している。	実施中 事務所Twiterで水防警報、洪水予報、発信時や一定雨量以上等の雨量情報等を提供。	－	－	－

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】

基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組項目名称の一部更新、既存取組項目の集約を含む）

応用：既存の取組項目から、新規取組の追加等を行い、発展

新規：新規の取組項目として追加

		取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
						和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
	13	感染症拡大防止等を考慮した避難施設（民間施設等を活用した緊急的な避難先を含む）の充実	応用	継続的に実施	▼避難所・避難路の整備、▼高台整備、▼避難所内の設備充実	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	実施中 市町村が実施する避難路整備や避難所に必要な物資の整備費用に対して「わかやま防災力パワーアップ補助金」にて支援。	実施済 避難所装備（感染症対策）の充実、多様な避難先の確保（ホテル避難への補助）。	実施中 避難所内の設備充実。	実施済 感染症対策備品の備蓄。（R5）	実施中 県補助金により各市町における避難所の感染防止対策に必要な資機材の整備について支援する。	実施中 ・避難所環境整備として、エアーベッド・水循環型シャワー・プライバシーテント・給水拠点タンク・雨水タンク・備蓄倉庫を整備。 ・鮒田地区の高台へ避難所兼消防車庫を整備。	実施中 簡易トイレ、間仕切り、簡易ベッドなど感染症対策を考慮した避難所施設の充実を図る。	－	－	実施中 掘削土砂の受入地として、高台を整備。	－	－	－
	14	感染症拡大防止を考慮した防災行動計画や避難計画等の更新と訓練の実施	応用	継続的に実施	▼避難計画、タイムラインの更新、▼感染症拡大に配慮した避難所訓練の実施	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	実施中 「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定し、感染症拡大防止等を考慮した避難所運営について市町村に周知。	実施済 避難所の感染症対策マニュアルの作成とそれに基づく避難所設置・受入訓練の実施。	実施済 避難所運営マニュアルを改訂し、避難所の感染症対策に配慮した避難所訓練の実施。	実施済 更新完了したので、訓練の検討中。（R5）	実施中 県が作成する「避難所運営マニュアル策定指針」等に基づき、各市町の感染防止対策をふまえた避難所運営の実施を支援する。	実施中 井田小学校避難所、及び神内小学校避難所運営マニュアルの見直し。	実施中 紀和町板屋川流域で感染症拡大防止を考慮した避難所運営マニュアル作成（R4）、有馬小学校避難所運営マニュアルを作成（R5）、有馬中学校、旧甫母分校避難所運営マニュアルを作成（R6）、飛鳥小学校、飛鳥中学校避難所運営マニュアルを作成（R7）。	－	－	未実施 －	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R7）

【取組機関・オブザーバー】
●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外
※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】
・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】
基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組
応用：既存の取組項目から、新規取組の
新規：新規の取組項目として追加

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関									オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方和歌山気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱②：情報の一元化や情報発信の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化																													
15	ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進	基礎継続	継続的に実施	▼緊急速報メール等のプッシュ型での情報提供、▼SNS等での情報提供	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施中 ・和歌山県防災ナビアプリで、河川水位情報、土砂災害危険度情報等を配信。 ・防災わかやまウェブページで指定河川洪水情報を配信。 ・防災わかやまメールで河川洪水予報、河川水位情報を配信。 ・緊急速報メールで避難情報を周知する。（指定河川洪水警報が発表され、併せて避難情報が発表され、該当市町村からの配信の要望があったとき配信） ・X（旧Twitter）を活用した情報発信。	実施済 避難情報等の緊急速報メールのプッシュ型情報提供、SNS等での情報提供。	実施済 防災メールや市公式SNS等で防災情報を提供。	実施済 ラインを活用した情報提供を行っている。	実施中 メールやSNSでの情報提供。	実施中 防災行政無線と連携したSNS（LINE、メールなど）やテレビによる情報発信。さらに防災タブレットを全自主防災組織の代表に配布し、最新の防災情報を簡単にいち早く得ることが可能。	実施中 防災行政無線と連携したSNS（LINE）による情報発信を実施。	実施中 民間事業者と連携して、自分が登録した地域がキキクルで危険度が高まった場合や警報等が発表された場合に自動で通知するサービスを提供している。	実施中 気象庁の防災情報提供システムにおいて、メールによるプッシュ型の防災情報の提供を行っている。	実施済 ・氾濫危険情報を出す際に緊急速報メールを実施。 ・事務所X（旧Twitter）で水防警報、洪水予報、発信時や一定雨量以上等の雨量情報等を提供。	－	－	－
16	避難行動、水防活動に繋がる観測施設（水位計、雨量計、河川監視用カメラ）等の整備・配信	基礎継続	継続的に実施	▼危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の整備・配信、▼避難目安水位ラインの整備・周知	●	●	●	●	●	●	－	－	●	－	－	－	実施中 ・「和歌山県河川／雨量防災情報」で、リアルタイムの水位や避難判断水位等の情報及びカメラ画像を配信中。 ・熊野川（本宮区間）大居、熊野川（日足区間）宮井及び北山川七色に河川監視カメラを設置済み。今後、必要に応じ追加設置を検討。	実施済 河川監視カメラの整備（9台）内2台の外部公開。（HP上）	実施済 水位計・河川監視カメラ等の整備。	実施済 ダム湖の水位を確認するための監視カメラを設置している。	実施中 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを整備・配信する。	実施中 紀宝町防災情報共有システムにより、町内11台の監視カメラや雨量、水位、ダム放流量など最新の情報を配信しており、全自主防災組織の代表に配布している防災タブレットで簡単にいち早く情報を得ることが可能。	－	－	－	実施済 ・危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの整備・配信済。 ・避難目安水位ライン（成川・高岡・下田）の整備・周知済。	－	－	－
17	各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の確認と構築	応用	継続的に実施	▼関係機関の減災に資する平時からの取組、洪水時の対応状況、水防資機材の状況等の情報を共有する必要性や仕組みの確認・構築	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	実施中 ・水防計画により水防資機材の状況や取組を共有する仕組みとして構築。 ・水防資機材の情報は、毎年水防計画書を更新し、その度共有。	実施済 平時からの河川管理者との情報共有等。	実施中 関係機関の減災に資する平時からの取組、洪水時の対応状況、水防資機材の状況等の情報共有を図っている。	未実施 ・防災無線やラインでの周知を行っているが、今後はDXなど活用した効果的な情報の配信について検討が必要。 ・配信できる仕組み、システムの構築の面でも国・県の支援をお願いしたい。（R6）	実施中 水防資機材の備蓄状況や、洪水時の対応状況等の情報は水防計画で共有する仕組みとしており、毎年更新を行っている。	実施中 平時から河川管理者との情報共有を行うとともに、洪水時には、タイムラインに基づく連携会議による危機感共有を実施。	実施中 RM年度防災情報集約システムを導入した。	実施済 気象台と河川管理者と共同で、洪水演習を実施している。	実施中 毎年、気象台と河川管理者と共同で、洪水演習を実施している。	実施済 洪水予報連絡会幹事会（対面）による関係機関との洪水情報等の共有を実施。	実施済 ・ダム放流に関する情報伝達ルート多重化（2013開始～2016完了） ・ダム放流に関する通知・通報先（行政4箇所、警察・消防5箇所）を追加。（2012.9完了） ・放流量による警報サイレン吹鳴頻度を増加。（2013開始～2015完了）	未実施 関西電力として各管理者の情報を配信する仕組みの必要性はない。	実施済 日本気象協会から鉄道設備に関わる河川等の氾濫予測の提供と、説明会や訓練等を実施し、効果的に活用できるように仕組化している。
18	雨量・水位・ダム放流情報等の一元化の検討	応用	継続的に実施	▼熊野川流域での雨量・水位・ダム放流等の一元化、▼各情報の効率的・実用的な活用方法の検討	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	－	実施済 「和歌山県河川／雨量防災情報」で、水位情報やカメラ画像を一元化して効率的・実用的に配信中。	実施済 関係機関が集約した情報サイトを避難情報発出の際などに活用。	実施中 県の防災情報と市の観測データを組み合わせて市の避難判断等に活用中。	実施中 県の情報、電源開発の洪水時の放流量の情報を基に避難情報を発信している。（R6）	実施済 川の防災情報へ雨量・水位等の情報を掲載する。	実施中 水防災オープンデータ提供サービスを活用し、紀宝町防災情報共有システムにより、雨量・水位・ダム放流等の一元化を行い、情報発信を実施。	実施中 熊野市ホームページにて各機関の情報を「台風接近時に伴う緊急情報リンク集」として掲載している。（R6）	実施中 気象庁の洪水キキクルと国交省の水害リスクラインの表示を統合することで危険度情報を一体的に発信している。	実施中 気象庁の洪水キキクルと国交省の水害リスクラインの表示を統合することで危険度情報を一体的に発信している。	実施中 川の防災情報における情報提供。	実施済 ・国土交通省「川の防災情報」へダム情報を提供。（2012.6完了） ・和歌山県「和歌山県情報館 雨量水位情報」は上記を経由。（同年10月から）	実施中 「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」に基づき、河川管理者へのダム情報の整備（情報の発信）を検討、協議中。	－
19	ダム放流による水位変動見込み等の情報提供の検討	応用	継続的に実施	▼ダム放流見込みによる下流区間水位の影響検討、▼今後のダム放流見込みの共有方法の調整・検討	●	－	－	－	●	－	－	－	●	○	○	－	実施中 ・二津野ダム、小森ダム、七色ダム、池原ダム（電源開発（株））の放流見込み情報をFAXで共有し、関係機関で共有。 ・今後、国からの予測水位の情報提供を受け、ダム放流を見込んだ水位予測を検討。	－	－	－	実施済 ダム洪水調節機能協議会に参画し、協議会の中で検討する。	－	－	－	－	未実施 －	実施中 ・関係機関への通知・通報時にダム放流量の見通し（増加、横ばい、減少）を連絡。（従前より実施） ・数時間後の予測ダム放流量について、降雨・流入予測技術の高度化を見据えながら継続検討中。	実施中 ダム操作規程に基づき関係機関に通知、通報を実施。	－

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】

基礎継続　：既存の取組項目を継続（既存取組

応用　：既存の取組項目から、新規取組の

新規　：新規の取組項目として追加

	取組項目		種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関									オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
						和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
	20	洪水予測の周知・活用と予測技術の向上（水位予測、氾濫予測、長時間予測等）	応用	継続的に実施	▼幅を持った水位予測、▼予測の長時間化、▼リアルタイム氾濫予測、▼ダム運用、避難、水防等での活用検討	●	－	－	－	●	－	－	●	●	－	－	－	実施中 ・熊野川において、洪水予報（水位予測）を行い、出水時に関係機関へ周知。 ・今後、国からの予測水位の情報提供を受け、予測の長時間化をすることで、避難や水防に活用することを検討中。	－	－	－	未実施 今後、国からの予測水位の情報提供を受けたあと、活用を検討する。	－	－	実施中 雨量予測データを提供している。	実施中 洪水予報河川における流域平均雨量データを国交省に共有している。	実施中 水害リスクラインにおける水位予測。	－	－	－
	21	鉄道事業者との連携による社会経済被害最小化に繋げる検討及び実践	応用	継続的に実施	▼洪水予測の鉄道事業者への提供、▼鉄道事業者の防災行動計画作成支援	－	○	－	－	－	○	－	○	●	－	－	○	－	実施済 地域防災計画への鉄道事業者の防災行動計画の記載・検討。	－	－	－	実施中 鉄道事業者との連携による社会的被害最小化に繋げる方策について検討。	－	実施中 雨量予測データを提供している。	実施中 鉄道事業者に対し、防災情報の利活用や入手方法について勉強会を実施している。	実施中 流域タイムラインによる県区間等の拡充等で鉄道事業者との参画を検討し、水位見通しの提供等を検討。	－	－	実施済 日本気象協会から鉄道設備に関わる河川等の氾濫予測提供と、車両避難計画を予め策定し、被害の最小化に繋がるようにしている。
	22	メディアとの連携による避難に資する河川情報提供の検討及び実践	応用	継続的に実施	▼メディアとの連携による切迫した河川情報の配信、呼びかけの工夫、▼『和歌山県域メディア協議会（仮称）』での取組検討・実践	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	－	実施中 ・R7.8.21に『第7回和歌山県域メディア連携協議会及び勉強会』を実施し、河川情報提供に係る協議を行った。 ・切迫した水害時を想定し、報道訓練や中継訓練の実施、及び専門職員の解説について検討中。	実施済 防災情報システムのLアラート情報連携機能による情報提供。	実施済 ・総合防災情報システムのLアラート情報連携機能による情報提供を実施済み。 ・避難情報発令時に、河川氾濫の危険性のため等の発令理由を付して情報提供を実施している。	実施中 ・テレビ和歌山の「シリーズ防災」にて孤立対策の紹介を行った。 ・河川監視用のカメラは設置済だが、情報発信については今後の課題。国・県において、方針を示していただきたい。（R6）	未実施 検討中。	実施中 ケーブルテレビとの連携により、防災行政無線から流れる気象や避難等の防災情報、防災メールの内容をケーブルテレビを通じて発信。（R6）	実施中 ・ZTVコミュニティチャンネルで河川のライブカメラ映像が視聴可能となる。（R6）	実施中 ・和歌山県メディア連携協議会や防災インフラツアーに参加している。 ・R7年3月に和歌山県報道各社との勉強会を実施した。（R6）	実施中 毎年、NHKとの意見交換会にて、勉強会を実施している。	実施中 ・和歌山県域メディア連携協議会を実施中。 ・メディア機関との報道訓練をR7.12、R8.1に実施予定。	実施済 ・ダム放流量等の情報を関係行政等へ提供済。（2022年） ・上記取組の他、具体的計画はない。	未実施 関西電力として主体的に実施する内容はない。	－
	23	リスク情報や治水事業効果の見える化	発展	継続的に実施	▼ハザードマップの3次元化、▼VR技術の活用	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	実施中 「土砂災害警戒区域等の360度動画」をYouTubeで公開。	実施済 ジオラマ（国作成浸水モデル）の活用によるリスク情報や治水事業効果の周知	実施中 デジタルツインプロジェクトの活用により情報の見える化を図り災害対応力を強化。	未実施 ハザードマップの3次元化・VR技術の活用などについて、支援していただきたい。（R6）	未実施 現時点では作成予定なし。	実施中 VR（仮想現実）やAR（拡張現実）などのデジタル技術を使った防災訓練や避難支援の実用化に向け、中央大学と共同研究を実施中。	実施中 ・建物や道路などの空間情報の3Dデータと津波・浸水などの災害ハザード情報を重ね合わせて表示するシステムを構築し、防災啓発に取り組んでいる。 ・浸水多発地域にワンコイン浸水センサを設置し、避難情報発信や通行規制の迅速化を図る。（R6）	－	－	実施中 3次元化浸水想定区域の作成、DXルーム（事務所、出張所）の活用。	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R7）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】

基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組

応用：既存の取組項目から、新規取組

新規：新規の取組項目として追加

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関									オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	和歌山	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱③：地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践																													
24	消防団等への連絡体制の定期的な確認と伝達訓練の実施	基礎継続	継続的に実施	▼消防団との情報伝達訓練、▼消防団の連絡体制の確認・強化	－	●	●	●	－	●	●	●	●	－	－	－	－	実施済 配布の戸別受信機による情報伝達確認。（月1回）	実施済 連絡体制の確認、情報伝達訓練。	実施中 消防団員用にエルガナを導入して連絡体制を強化する予定。	－	実施中 ・LINEやエルガナによる連絡を主とし、火災等の発生情報はメールにて配信。 ・活動中は、移動系無線機を活用。	実施済 ・方面隊訓練の中で情報伝達訓練も実施している。 ・年度初めに消防団幹部の連絡先確認を行っている。 ・火災等の事案発生情報を消防団幹部へメール配信している。	実施済 洪水予報の部外伝達演習を実施している。	実施中 毎年、気象台と河川管理者と共同で行う洪水演習に併せて、関係機関の伝達訓練も行われる。	実施中 洪水予報連絡会幹事会や水防警報等を通じて確認・強化している	－	－	－
25	必要な水防資機材の配備	基礎継続	継続的に実施	▼必要な水防資機材の確認・検討・補充	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	実施中 ・新宮建設部にエンジンポンプを配備済み。 ・１～２か月毎に動作確認を実施し、必要に応じ燃料等の補充。 ・その他水防資材も、定期的に必要数や在庫を確認している。	実施済 必要な水防資機材の確認・検討・補充。	実施済 必要な資機材の確認・検討・補充。	実施中 各地区に土嚢など水防資材を配置している。	実施中 年に1回程度保有数を確認し、必要に応じて補充する。	実施中 水防資機材の確認・点検を行うとともに、必要に応じて補充。	実施済 ライフジャケットを各分団に配布している。	－	－	実施中 必要な水防資機材の確認・補充を実施。	－	－	－
26	関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続	基礎継続	継続的に実施	▼地域（行政、消防団等）での水防演習の実施、▼流域での多機関連携による水防演習の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施済 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施。	実施済 総合水防演習への参加。	実施済 消防団における水防訓練の実施。	実施中 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施。（R5）	実施済 R4に近畿地整、和歌山県、関係市町村等と連携し、熊野川総合水防演習を実施。	実施中 今年度においては、水防訓練の予定なし。	実施中 今年度の実施予定はなし。（R6）	実施済 洪水予報の部外伝達演習を実施している。	実施中 R6年度の雲出川において開催された三重四川連合総合水防演習に参加している。	実施済 ・今年度は実施無し。 ・熊野川総合水防演習の実施。（R4）	－	－	－
27	消防団等の避難場所の確保	基礎継続	継続的に実施	▼水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保	－	●	－	●	－	●	●	－	－	－	－	－	－	実施済 水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保、退避基準の設定。	－	実施済 －（R6）	－	実施中 ・活動時の避難場所は定めていないが、安全第一を最優先に活動。 ・台風等風水害時は、町タイムラインに基づきゼロアワーを設定することで、最も危険な時には、完全退避を実施。	実施中 水防活動時における避難場所の定めは行っていないが、各分団で安全確保に努めていただいている。（R6）	－	－	－	－	－	－
28	水防協力団体の募集・指定を促進	基礎継続	継続的に実施	▼消防団の募集促進、▼ホームページ、広報誌への掲載	－	●	●	●	－	●	●	－	－	－	－	－	－	実施済 消防団の募集促進、ホームページ、広報誌への掲載。	実施済 ポスター掲示及び配付HP等での広報。	実施済 消防団員は条例定数で80人となっているが、ほぼ定員を満たしている。（R6）	－	実施中 消防団の募集促進、広報誌への掲載等を実施。	実施中 主に各分団長に地域で入団の促進を行っていただいている。	－	－	－	－	－	－
29	消防団や地域住民が参加した重要水防箇所及び水防資材の共同点検等の実施	基礎継続	継続的に実施	▼関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認、▼重要水防箇所の更新・周知	－	●	●	●	－	●	●	－	●	－	－	－	－	実施済 関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認。	実施済 関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認。	実施済 消防団による機材の点検等。（R6）	－	実施中 関係者による重要水防箇所の現地確認や各分団による水防資材の点検を実施。	実施済 各分団により年1回資機材点検を実施している。	－	－	実施中 洪水予報連絡会幹事会及び事務所ＨＰ、県水防計画に重要水防箇所の更新周知を実施。	－	－	－
30	庁舎、災害拠点病院等に関する水害リスク情報の共有	基礎継続	継続的に実施	▼№4の情報も含めた情報共有、▼管理者への水災害リスク情報の説明	●	●	●	●	－	●	－	－	－	－	－	－	実施中 ・本庁、振興局庁舎においては、水害時でも災害対応できるよう説明し、対応済み。（浸水想定区域内であっても本部機能は2階以上に置くなど） ・水害リスク情報の空白域に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供し情報共有済み。	実施済 №4の情報も含めた情報共有とそれを踏まえた研修等の実施。	実施済 洪水ハザードマップ等の情報提供。	実施済 洪水ハザードマップ情報の共有については、職員で共有できている。（R6）	－	実施中 洪水防災ハザードマップなどの情報提供を実施。	－	－	－	実施済 本局の庁舎移転実施。（大手前合同庁舎）	－	－	－
31	大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施	応用	継続的に実施	▼施設の建て替え、▼防災拠点施設の整備	－	－	－	－	－	●	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	実施済 防災拠点施設を整備済。	－	－	－	実施済 本局の庁舎移転実施。（大手前合同庁舎）	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R7）

【取組機関・オブザーバー】

●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外

※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新

・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組

・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】

基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組

応用：既存の取組項目から、新規取組の

新規：新規の取組項目として追加

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関								オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱④：氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の推進																													
32	河道掘削・低水護岸整備・堤防整備等の継続	基礎継続	継続的に実施	▼熊野川（直轄区間）河道掘削、▼築堤・護岸整備、▼沿川道路・背後地嵩上げ	●	－	●	－	●	－	－	－	●	－	－	－	実施中 ・熊野川：整備計画区間にて、輪中堤、河道掘削を実施中。 ・佐野川：整備計画区間にて、護岸整備、河道掘削を実施中。	－	実施中 三越川の浚渫をR10まで実施。	－	実施済 ・熊野川（県管理区間）については、令和3年に整備計画に基づく河道掘削を実施済み。 ・令和4年度より支川の北山川等において河道の維持掘削を実施済み。 ・令和5年度は熊野川本川（県管理区間）の紀和町和気地区および支川の板屋川にて河道掘削を実施。 ・令和6年度は熊野川本川（県管理区間）の紀和町和気地区にて河道掘削を実施。 ・令和7年度は熊野川本川（県管理区間）の紀和町和気地区にて河道掘削を実施予定。	－	－	－	－	実施中 あけぼの・鵜殿地区河道掘削の実施。	－	－	－
33	粘り強い堤防整備等の危機管理型ハード対策の検討・実施	発展	継続的に実施	▼越水時に決壊しにくい堤防構造の検討・実施	－	－	－	－	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	実施中 北山川において、令和3年度より堤防強化事業に取り組んでおり、今後も継続して実施する。	－	－	－	－	実施済 堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強（危機管理型ハード対策）を実施済み。	－	－	－
34	市田川流域大規模浸水対策など内水対策（ハード対策）の実施	基礎継続	継続的に実施	▼雨水排水ポンプの整備、▼都市下水路整備の検討・実施	○	●	－	－	－	●	－	－	○	－	－	－	実施済 浮島川排水機場の排水機能の強化のため、補助ポンプ整備済み。	実施済 雨水排水ポンプ増強（2.0m3/s）R6完成。	－	－	－	実施中 成川深谷地区浸水対策事業を継続中。	－	－	－	実施中 市田川排水機場ポンプ増強。	－	－	－
35	砂防事業の継続	基礎継続	継続的に実施	▼砂防堰堤の整備、▼砂防施設の維持管理	●	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	実施中 土石流等土砂災害の危険性のある渓流等に砂防施設を整備。	－	－	－	実施中 ・流域内の4渓流において砂防事業を実施中。 ・令和6年度に1渓流完了。	－	－	－	－	－	－	－	－
36	利水ダム事前放流の実施や流域での雨水貯留機能の向上	応用	継続的に実施	▼ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用、▼雨水貯留浸透施設整備の検討・実施	○	●	●	●	○	●	●	－	○	○	○	－	実施中 ・各協議会において構成員として参画し、取組を支援・協力。 ・熊野川減災協議会。（R7.1.20） ・新宮川水系ダム洪水調節機能協議会。（R6.5.27） ・熊野川の総合的な治水対策協議会。（R7.3.17） ・熊野川流域治水協議会。（R7.1.20）	実施済 雨水貯留浸透施設整備の検討・実施。（王子ケ浜小、緑丘中、蓬莱グラウンド →完了）	実施中 ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用。	実施中 電源開発において台風時に事前放流を行っている。	実施中 利水ダム管理者との連携による事前放流の運用を継続。	実施中 ダム管理者と事前放流の情報共有を実施。	実施中 ダム管理者と事前放流の情報共有を行っている。	－	－	実施中 新宮川水系洪水調節機能協議会でダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用を実施。	実施中 ・2012.6から自主的に放流量を低減する運用「暫定運用」を開始。 ・2020.5締結の治水協定に基づく事前放流を開始。（方法は暫定運用と同じ）	実施中 ・令和2年5月：治水協定の締結。 ・令和3年10月：奥吉野発電所治水協力実施要領の策定、提出。 ・奥吉野発電所治水協力実施要領に基づく運用を実施。	－
37	水防拠点・河川防災ステーションの検討・調整及び整備の実施	応用	継続的に実施	▼河川防災ステーション整備の検討・調整・実施	－	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	実施中 市田川排水機場周辺地域の広域防災拠点化の可能性を検討。	－	－	－
38	水防資機材の搬入路の検討及び整備の実施	応用	継続的に実施	▼搬入路の検討、▼搬入路の拡幅・補強・新設等	●	●	●	●	●	●	●	－	●	－	－	－	実施中 重要水防箇所の点検時、通路となる河川への昇降路（搬入路）を併せて点検。	実施済 搬入路等の検討。	実施済 搬入路の検討。	実施済 おくとろ道路3期工事による実施中。（R5）	実施中 搬入路必要箇所の判断基準はあるのか。また、堀込河道区間においても検討は必要か。（R5）	実施中 搬入路等の検討。	実施中 搬入路等の検討。（R6）	－	－	未実施 －	－	－	－

■熊野川減災協議会　取組項目進捗状況アンケート結果（R7）

【取組機関・オブザーバー】
●：取組対象（主体）　○：取組対象（支援・協力）　－：取組対象外
※取組対象（主体）は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】
・基礎継続：これまでに実施してきた取組の継続・更新
・応用：これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体の取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組
・発展：これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体の取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

【種別】
基礎継続：既存の取組項目を継続（既存取組
応用：既存の取組項目から、新規取組の
新規：新規の取組項目として追加

	取組項目	種別	目標時期	取組事例・取組イメージ	取組機関									オブザーバー			取組内容										オブザーバー		
					和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	地方気象台（和歌山）	津地方気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本
柱⑤：生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための排水活動・復旧・復興の実現																													
39	排水施設の確実かつ的確な運用に資する施設整備・維持管理	基礎継続	継続的に実施	▼排水施設の点検、維持管理、▼水門・樋門の自動化、▼排水施設の耐水化、▼水門・樋門の操作演習	●	●	●	－	●	●	－	－	●	－	－	－	実施中 浮島川排水機場の月2回の動作確認、月1回の電気設備点検を実施。	実施済 排水施設の点検、維持管理、水門・樋門の操作研修。	実施中 萩樋門、排水ポンプ施設の維持管理。	－	実施中 年に1回点検を行う。	実施中 毎年、排水施設の点検・維持管理・操作訓練等を実施。	－	－	－	実施中 施設点検維持管理を実施、緊急地震速報時での水門・樋門の自動閉鎖訓練を実施、樋門操作講習会で水門・樋門操作を実施、職員による遠隔操作訓練を実施。	－	－	－
40	排水訓練の継続及び検証、改善	基礎継続	継続的に実施	▼排水ポンプ車配置訓練の実施、▼可搬式ポンプの使用訓練、▼排水計画の見直し	－	●	●	●	－	●	－	－	●	－	－	－	－	実施済 可搬式ポンプの点検及び使用訓練。	実施中 萩水門の排水ポンプ設備の定期点検を実施。	未実施 自然流下で排水できるので、ポンプで排水しない。（R6）	－	実施中 ・可搬式ポンプの点検、操作訓練を実施。 ・女性消防団員による可搬式ポンプ操作訓練を2回実施。	－	－	－	実施中 排水ポンプ車の使用訓練の実施。	－	－	－
41	災害廃棄物処理計画の策定・改定	基礎継続	継続的に実施	▼災害廃棄物処理計画の策定、▼必要に応じた既存計画の改定	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	－	－	実施済 災害廃棄物処理計画を策定済み。	実施済 災害廃棄物処理計画の策定。（R3）	実施済 ・令和3年6月に策定済み。 ・R6年度に修正したが、今後必要に応じ見直していく	未実施 北山村地域防災計画にも、大規模災害時の具体的な指針となる災害廃棄物処理計画を策定する、とあるが策定されていない状況。（R6）	実施中 必要に応じて三重県災害廃棄物処理計画を改定する。	実施済 紀宝町災害廃棄物処理計画の策定済。	実施中 熊野市災害廃棄物処理計画策定済。	－	－	－	－	－	－
42	災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化に資する取組	応用	継続的に実施	▼平時からの情報共有・連絡体制の確立、▼大規模災害発生を見据えた防災訓練等の実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	－	－	実施済 ・R4.5.28 国、県、市町村、水防団等の関係機関と熊野川総合水防演習により防災・災害復旧に係る連携強化を図った。 ・陸上自衛隊等も参加の「和歌山県総合防災訓練」（R7.10.15）を実施。	実施済 ・平時からの情報共有・連絡体制の確立。 ・総合防災訓練の実施。（R3）	実施中 平時からの情報共有と連絡体制の構築し、防災訓練等の実施している。	実施中 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を実施。（R5）	実施済 R4に近畿地整、和歌山県、関係市町村等と連携し、熊野川総合水防演習を実施。	実施中 ・平時から、消防団との情報共有を行うとともに、連絡体制も整備済。 ・紀宝町、熊野市消防本部、陸上自衛隊中部方面隊総監部衛生隊の合同による救急医療・災害医療にかかる多機関合同訓練を実施。	実施中 平時から自衛隊、消防団等と情報共有を行っている。	実施中 R4.5.28 国、県、市町村、消防団等の関係機関と熊野川総合水防演習を含む関係機関に対し、防災情報の普及・理解の促進を図っている。	実施中 津地方気象台が毎年開催している「防災情報みえ連絡会」において、報道機関を含む関係機関に対し、防災情報の普及・理解の促進を図っている。	実施済 熊野川総合水防演習の実施。（R4）	－	－	－
43	水害対応版BCP作成、企業に対する作成支援	応用	継続的に実施	▼企業へのNo4の情報も含めた水害リスク、防災行動計画等の情報提供	○	●	●	●	○	●	●	－	○	－	－	－	実施中 水害リスク情報の空白域の解消に向け、洪水予報河川や氷位周知河川以外の一級河川及び二級河川の洪水浸水想定区域図を作成後、関係市町村に提供済み。	実施済 企業へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供。	実施中 洪水ハザードマップ等の情報提供。	未実施 マンパワー不足により、取り組めていない現状。ＢＣＰの作成または、復旧・復興に向けた支援をお願いしたい。（R6）	実施済 水位周知河川以外のすべての県管理河川における洪水浸水想定区域図を作成し、関係市町に提供済。	実施中 洪水防災ハザードマップなどの情報提供を実施。	実施中 市内事業所から依頼があった場合には市作成のハザードマップを提供し、また問い合わせにも対応している。（R6）	－	－	実施中 災害情報普及支援室を通じて実施中。	－	－	－
44	地域防災計画の被災者支援の検証（避難所生活、仮設・復興住宅及び避難所用地の確保等）	基礎継続	継続的に実施	▼被災者支援の取組事例の収集・共有、▼支援内容の検討	○	●	●	－	○	●	－	－	○	－	－	－	実施中 避難所生活について県で市町村向け「避難所運営マニュアル作成モデル」を作成し、市町村を支援。	実施済 被災者支援の取組事例の収集・共有、地域防災計画の修正。（支援内容等）	実施中 被災者支援の取組事例の収集・共有等。	－	実施中 市町の防災会議に出席し、市町防災計画の策定に関する支援・協力を行う。	実施中 仮設・復興住宅などの建設用地を整備。	－	－	－	実施中 県市町の防災会議において、県市町防災計画の策定に関する支援・協力を行う。	－	－	－